



平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月13日

上場会社名 株式会社パル 上場取引所 東証第一部
 コード番号 2726 URL <http://www.palgroup.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井上 隆太
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宇都宮幸雄 TEL:(06)6227-0308
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	31,976	-	1,701	-	1,711	-	709	-
21年2月期第2四半期	30,793	7.0	1,444	23.3	1,439	23.5	544	31.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	64.64	
21年2月期第2四半期	49.72	49.70

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	44,597	22,022	40.6	1,644.59
21年2月期	47,664	21,645	37.0	1,609.34

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 18,088百万円 21年2月期 17,631百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	-	0.00	-	30.00	30.00
22年2月期	-	0.00	-	-	
22年2月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,770	3.5	4,720	10.5	4,700	10.8	2,190	40.3	199.11

(注) 連結業績予想の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無 : 有
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4.その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 : 有
 以外の変更 : 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年2月期第2四半期 11,568,000株 21年2月期 11,568,000株

期末自己株式数

22年2月期第2四半期 569,134株 21年2月期 612,240株

期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年2月期第2四半期 10,980,924株 21年2月期第2四半期 10,956,041株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

記載しております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)個別業績の概要

1. 平成22年2月期第2四半期の個別業績(平成21年3月1日 ~ 平成21年8月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	24,657	-	1,791	-	1,820	-	864	-
21年2月期第2四半期	22,335	6.9	1,394	12.9	1,396	13.3	701	20.6

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年2月期第2四半期	35,482	16,382
21年2月期	37,782	15,785

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 16,382百万円 21年2月期 15,785百万円

2. 平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日 ~ 平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,680	5.2	4,600	17.3	4,580	17.9	2,270	33.5	206.38

(注) 個別業績予想の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日から平成21年8月31日まで)におけるわが国経済は、公共投資の増加などの景気刺激策、輸出の回復などによって、昨年からの世界的景気後退局面から漸く下げ止まり感が出てまいりました。

小売業界の環境につきましては、失業率の大幅な悪化や、企業業績の悪化による給与所得などの伸び悩みによって、依然として個人消費意欲は大幅に減退しており、まだ回復の兆しが見えておりません。

衣料小売業界におきましても、雇用情勢や給与所得の伸び悩みから、消費意欲は非常に弱まっており、さらに低価格化傾向が顕著になったことが加わって、全般に低調に推移いたしました。

このような状況の中、当企業集団は業態の確立と出店の促進とを積極的に行うとともに、業態変換による既存店の活性化と不採算店舗の撤退とを推し進め、業容の拡大と経営効率の改善に努めてまいりました。

衣料事業におきましては、上記のような国内経済環境の悪化など、顧客の購買意欲が著しく減退する厳しい状況にありましたが、52週MDの精緻化に努め、機動的な商品投入によって店頭商品の鮮度を向上させるなどしたほか、出店を29店舗行うなどした結果、売上高は前年同期比1.8%増加の24,183百万円となりました。

雑貨事業におきましては、消費者の低価格志向にもマッチしたことなどから売上高は前年同期比19.5%増加の5,999百万円と、引き続き順調に拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当企業集団の売上高は前年同期比3.8%増の31,976百万円となりました。

利益面につきましては、52週MDの精緻化による在庫コントロールを推し進めることなどにより、売上高総利益率が前年同期比0.8ポイント改善したことなどを主因として、営業利益は前年同期比17.8%増加し、1,701百万円となりました。経常利益は、前年同期比18.9%増加し1,711百万円となり、30店舗を撤退し、11店舗業態変換をするなどによる固定資産除却損などで特別損失を334百万円計上するなどした結果、四半期純利益は、前年同期比30.3%増加の709百万円となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、現金及び預金が3,031百万円、受取手形及び売掛金が382百万円、商品が310百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて3,623百万円減少しました。

固定資産は、建物及び構築物が213百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて556百万円増加しました。

(負債)

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が3,395百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて3,426百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金が228百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて17百万円減少しました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金等の増加により前連結会計年度末に比べて376百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、平成21年4月15日に公表いたしました

平成22年2月期通期の連結・個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成21年10月13日)別途公表しております「業績実績及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、主として個別法による原価法から、主として個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,805,484	23,837,274
受取手形及び売掛金	3,355,489	3,737,936
商品	2,967,288	3,277,413
その他	904,184	802,902
貸倒引当金	3,394	2,847
流動資産合計	28,029,052	31,652,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,058,985	3,845,475
その他(純額)	1,019,823	957,176
有形固定資産合計	5,078,808	4,802,651
無形固定資産		
	69,695	64,445
投資その他の資産		
差入保証金	9,224,604	8,979,280
その他	2,276,765	2,244,627
貸倒引当金	81,898	79,222
投資その他の資産合計	11,419,471	11,144,685
固定資産合計	16,567,975	16,011,783
資産合計	44,597,027	47,664,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,254,350	9,649,400
短期借入金	1,418,348	1,258,464
1年内返済予定の長期借入金	1,259,353	1,156,314
未払法人税等	734,655	773,625
賞与引当金	618,410	635,781
引当金	30,835	193,470
その他	3,151,854	3,226,796
流動負債合計	13,467,808	16,893,854
固定負債		
長期借入金	5,738,618	5,967,395
引当金	399,623	361,083
その他	2,968,813	2,796,571
固定負債合計	9,107,055	9,125,050
負債合計	22,574,864	26,018,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,181,200	3,181,200
資本剰余金	3,379,452	3,379,452
利益剰余金	12,690,064	12,335,598
自己株式	1,142,249	1,228,773
株主資本合計	18,108,466	17,667,477
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,869	35,958
評価・換算差額等合計	19,869	35,958
少数株主持分	3,933,566	4,014,039
純資産合計	22,022,163	21,645,558
負債純資産合計	44,597,027	47,664,463

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	31,976,608
売上原価	14,048,516
売上総利益	17,928,092
販売費及び一般管理費	16,226,794
営業利益	1,701,297
営業外収益	
受取利息	4,484
負ののれん償却額	44,928
その他	40,889
営業外収益合計	90,302
営業外費用	
支払利息	72,284
持分法による投資損失	1,289
その他	6,156
営業外費用合計	79,729
経常利益	1,711,870
特別利益	
投資有価証券売却益	2,762
特別利益合計	2,762
特別損失	
固定資産除却損	189,290
減損損失	100,396
その他	45,035
特別損失合計	334,723
税金等調整前四半期純利益	1,379,909
法人税、住民税及び事業税	707,833
法人税等調整額	10,307
法人税等合計	718,140
少数株主損失()	48,082
四半期純利益	709,851

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当第2四半期累計期間における種類別セグメントの売上高及び営業損益

	衣料事業 (千円)	雑貨事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	24,183,026	5,999,877	1,793,703	31,976,608		31,976,608
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	59,444		48,326	107,770	(107,770)	
計	24,242,471	5,999,877	1,842,030	32,084,379	(107,770)	31,976,608
営業費用	23,014,220	5,433,082	1,948,709	30,396,012	(120,701)	30,275,310
営業利益	1,228,250	566,795	106,678	1,688,367	12,930	1,701,297

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約)中間連結損益計算書

前第2四半期連結累計期間(平成20年3月1日~平成20年8月31日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第2四半期)
区分	金額(千円)
売上高	30,793,958
売上原価	13,752,245
売上総利益	17,041,712
返品調整引当金戻入額	1,715
差引売上総利益	17,043,428
販売費及び一般管理費	15,598,906
営業利益	1,444,521
営業外収益	89,060
営業外費用	94,228
経常利益	1,439,353
特別利益	124,990
特別損失	295,970
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,268,373
法人税、住民税及び 事業税	527,692
法人税等調整額	129,298
少数株主利益	66,641
四半期純利益	544,741

(2) セグメント別の販売実績(連結)

セグメント	前年同四半期 (平成21年2月期 第2四半期累計期間)	当四半期 (平成22年2月期 第2四半期累計期間)	前年同期比
衣料事業	百万円	百万円	%
フレンチカジュアル	4,262	3,904	91.6
ユニセックス	3,955	4,647	117.5
タウンカジュアル	4,758	5,160	108.4
アウトレット	3,480	3,935	113.0
ユーズド	1,010	949	94.0
ナイスクラブ	6,296	5,585	88.7
衣料事業合計	23,764	24,183	101.8
雑貨事業	5,021	5,999	119.5
その他の事業	2,008	1,793	89.3
合 計	30,793	31,976	103.8

(3) 店舗の状況(連結)

	当四半期 (平成22年2月期 第2四半期累計期間)
前連結会計年度末の店舗数	543店
新規店舗数	36店
退店店舗数	30店
当第2四半期連結会計期間末の店舗数	549店